



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 15 号

2005. 3. 1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- 八幡湿原再生協議会が開催
- 2005 年度の活動について講師陣会議を開催
- 第 12 回西中国山地自然史研究会総会を開催
- 西中国山地自然史研究会 講師陣会議の決定事項

読者サロン

アンケート調査結果

イベント案内

- 雲月山の山焼き
- 山焼き後の雲月山とサンショウウオの産卵
- 両生類の産卵調査

花だより

- アテツマンサク

おしらせ

八幡湿原再生協議会が開催されました

(2005.2.13)

「八幡湿原再生事業」における検討協議会が 2 月 13 日 13:00 より、芸北文化ホールにて開催されました。近藤会長、茂田幸嗣さん、中越信和さん、野村吉春さん、前垣寿男さん、和田秀次さんが委員として出席したほか、4 人が傍聴されました。

2005 年度の活動について講師陣会議を開催しました

(2005.2.26)

高原の自然館が西中国山地自然史研究会と共催する 2005 年度の活動について、近藤紘史会長、上野吉雄氏、暮町昌保氏、佐久間智子氏、内藤順一氏、和田秀次氏、柳崎誠子氏（事務局）およびしらかわの 8 名が出席し、協議しました。また合併に伴い、来年度からは活動範囲を町内全域に少しずつでも拡大していくことでも合意が得られました。

第 12 回西中国山地自然史研究会総会を開催します

(2005.4.17)

西中国山地自然史研究会の活動を充実させるための会を開催します。観察会や調査、会費のことなどを決める大切な会です。ぜひご参加ください。雲月山の観察会終了後に行いますので、こちらと併せてどうぞ。なお、出席出来ない方は、委任状を送付ください。

おしらせ

講師陣会議で話し合った結果、今年度の活動予定は下記のとおり決まりました。

【観察会】

- 4月17日 雲月山の動植物と土橋の両生類の観察会
- 5月14日 原生林バードウォッチング
- 6月19日 阿佐山の植物と昆虫
- 7月30日 昆虫の観察会
- 7月31日 湿原の植物観察会
- 8月7日 オオサンショウウオの観察会
- 8月21日 巣箱づくり
- 9月25日 雲月山の動植物
- 10月2日 深入山の動植物
- 10月8日 サツキマスの観察会
- 10月8日 キノコの観察会
- 11月6日 冬鳥の観察会
- 11月6日 木の実と冬芽の観察会
- 11月19日 草地談話会
- 11月20日 千町原の刈り取り
- 1月29日 アニマルトラッキング
- 2月19日 スノートレッキング
- 3月12日 スノートレッキング

【湿原の復元】

- 4月29日 両生類の産卵調査
- 6月26日 植生調査
- 9月19日 植生調査
- 10月9日 鳥類相調査

【環境保全に関わる活動】

- 4月9日 雲月山の山焼き
- 5月8日 サクラソウ保全に向けた地域の取り組み
- 5月29日 カキツバタの里づくりへ向けた地域の取り組み

また、これ以外にも、随時イベントを企画していく予定です。詳しくは、毎月の『苧尾電波塔』をチェックしてください。

読者サロン

今回からはじまった読者サロンのコーナーでは、みなさんからの便りをご紹介します。第一回目の今回は、先日行ったアンケートの中からご意見を掲載させていただきます。

「観察会で多くの知識を得ることが出来、年々木々・花々・鳥たちに向く目が違ってきていることを実感しています。又、自然の再生への取り組みに参加し違う目線が生まれ、日常生活にも良い影響をいただきました。自然を大切に思う人が増えることを願って周りの方へおしゃべりしていきたいと思っています。」

芸北の自然がライフスタイルだけでなく、考え方まで変えてくれたようですね。自然館も、お手伝いができるようにガンバります。

「各観察会等のあとでは、できるだけ意見交換会の時間を取り、交流を深めてはいかがでしょうか。今回のアニマルトラッキングのあとのミーティング、まとめ等はとても良かったと思います。お茶もお酒もお菓子もありません。何もなくても意見交換できることがより会の発展に、自然保護のために役立つのではないのでしょうか。」

会員の方たちが意見交換できたのは良かったですね。今年は積極的にお話ができる場を作りたいと思います。「お茶もお菓子も・・・」ということですが、一杯のお茶があると、話はずむかもしれませんね。たいへん参考になりました

「私を含めて、投稿が少ないのもっと各自が自分の意見を発信しなければいけないと思います。(反省!!)」

今回から、読者サロンを設けました。(今まで無かったので、反省!)どうぞ、みなさんのお話も聞かせて下さいね。

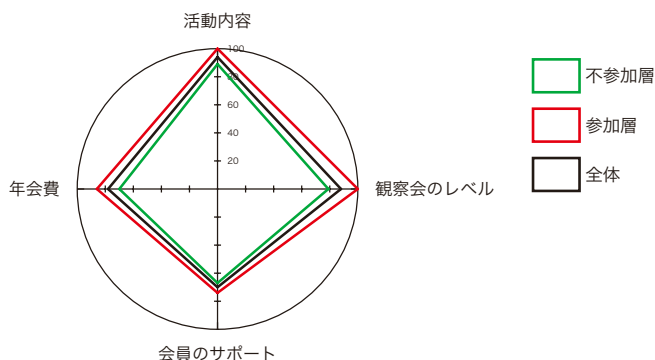
このコーナーでは、皆さまの便りをお待ちしております。西中国山地の自然賛やコラム、イベント情報をはじめ、苧尾電波塔の感想やご意見など何でも結構です。どうぞ気軽に御寄稿ください。

アンケート調査結果

1月から実施したアンケートでは、59通の回答を頂きました。ここでは、その結果を集計して報告します。（分析と文責：しらかわかつのぶ）

1. 西中国山地自然史研究会に関する質問

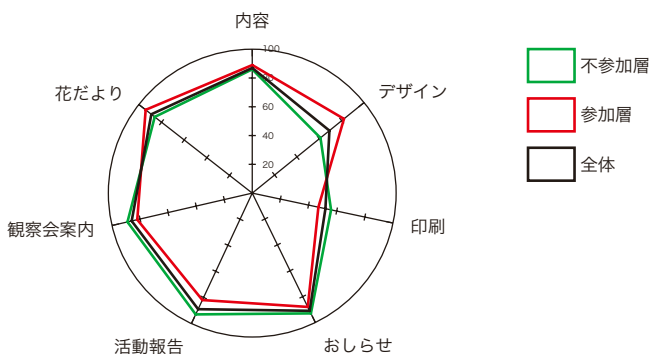
- ・1. とてもよい 2. よい 3. ふつう 4. わるい のいずれかを回答
- ・1あるいは2と回答した人の全回答数に占める割合を%で表示



この質問では会の活動そのものについて回答して頂きました。実際に観察会などに参加して頂いた方からは、活動内容・レベルともに100%良いという評価がありました。一方、会員のサポートでは評価が低くなりました。これに関しては具体的な点を考えて改善していく必要があります。また、会員から会へのサポートが足りないのでは、という意見も頂きました。たいへん頼もしい意見ですし、今回から始まった「読者サロン」などを通じて意見交換を行っていけば、もっと良い活動につながると思います。会費に関しては「安すぎるのでは?」「これからも活動を続けられるのか心配」という声を頂きました。実は、これはご指摘のとおりで、来年度の会費については総会で検討したいと思っています。

2. 苅尾電波塔に関する質問

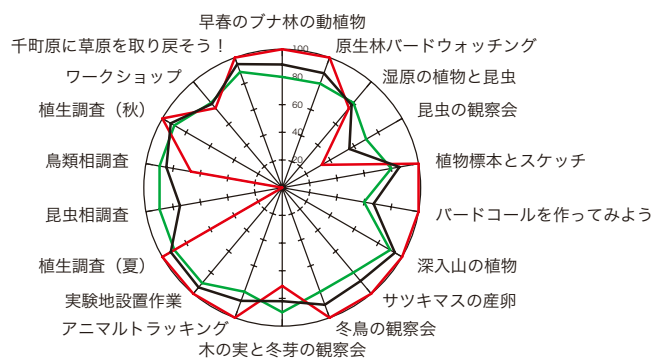
- ・1. とてもよい 2. よい 3. ふつう 4. わるい のいずれかを回答
- ・1あるいは2と回答した人の全回答数に占める割合を%で表示



概ね好意的なご意見を頂きました。特に「なかなか観察会に参加できないけれど、苅尾電波塔を読むと様子が分かるので嬉しい」という意見をいくつか頂きました。編集者としては嬉しい限りです。反対に「文字が多い」「印刷が悪い」という意見や「鳥・動物だよりも」というご要望も頂きました。これらについては、これからの課題にしたいと思います。印刷については、インターネットをご利用出来る方は、ぜひホームページからダウンロードしてみてください。これが一番きれいです。

3. 会の活動に関する質問

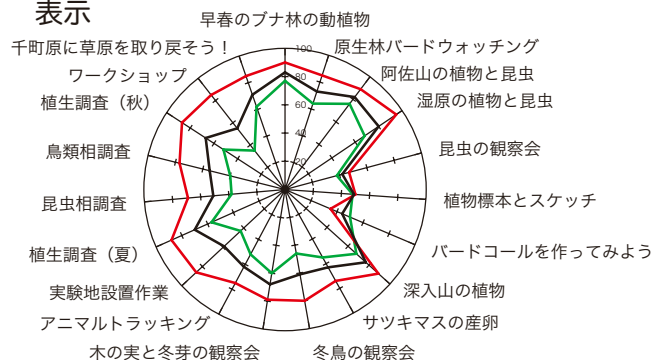
- ・1. とてもよい 2. よい 3. ふつう 4. わるい のいずれかを回答
- ・1あるいは2と回答した人の全回答数に占める割合を%で表示



参加者の満足度は概ね高かったようです。グラフで低くなっているところがありますが、これは「ふつう」と答えた方で「悪い」という回答はありませんでした。ありがとうございました。

4. 来年の活動に関する質問

- ・1. 参加する 2. 参加しない 3. 分からない のいずれかを回答
- ・1と回答した人の全回答数に占める割合を%で表示



今年の活動の参考にさせて頂きました。特に、昆虫の「観察会」では低く、「調査」で高かったのが印象的でした。ご協力ありがとうございました。

イベント案内

● 雲月山の山焼き

このたび、北広島町雲月地区では雲月山の山焼きを再開することになりました。現在、山焼き実行委員会では火道刈り&火の番を手伝っていただけるボランティアを募集しています。ぜひご協力ください。

開催日時：2005年4月9日(土)8:30～
(雨天の場合は翌日に延期)

集合場所：雲月山駐車場

参加料：500円(予定/昼食代、保険代を含む)

● 山焼後の雲月山とサンショウウオの産卵

火を放たれた翌週の雲月山を歩いて、火入れの影響を観察します。この時期、植物は少ないですが、山焼き直後の様子を見ておくことでその後の山歩きが何倍も楽しくなるはずで、午後からは付近の湿地でカスミサンショウウオの卵を観察します。卵塊を守る親も見られるかもしれません。

開催日時：2005年4月17日(日)9:30

集合場所：雲月山駐車場

講師：上野吉雄・暮町昌保・佐久間智子・
和田秀次

準備：山を歩ける服装、弁当、水筒、筆記用具、
双眼鏡など

定員数：30名

参加費：1,000円(ただし会員は無料)

● 両生類の産卵調査

湿原の再生事業が展開されている土嶽地区で、カスミサンショウウオをはじめとする両生類の産卵状況を調査します。2年前には対象地域の外縁部付近でしか産卵は確認できませんでした。今回注目したいのは、昨年4月に水路を設置して、導水した実験地の状況です。何かが産卵しているかもしれません。その他、対象地域全体での産卵の様子を確認します。

開催日時：2005年4月29日(日)9:30

集合場所：高原の自然館

講師：内藤順一

準備：山を歩ける服装、長靴、弁当、水筒、筆記用具、双眼鏡など

定員数：30名

参加費：無料

花だより

【アテツマンサク】

マンサクの花はよく見ると4枚の細長い花弁を持っています。降る雪がしだいに春の重い雪に変わってくる頃、巻物を開くようにそれぞれの花弁が数日かけてゆっくりと展開します。その様子は、精一杯雪に抗い、春を呼び寄せようとしているようにも感じられます。

— インターネット版の紹介と購読移行のお願い —

苅尾電波塔はe-mailでも発行されています。印刷版と同じ情報が毎月あなたのメールアドレスに届きます。パソコンでe-mailをお使いの方ならどなたでも無料で申し込みができます。まずは高原の自然館ホームページ、メールマガジンのコーナーをご覧ください。また、ホームページからダウンロードできるpdfファイルは、郵送している紙版に比べ、鮮明なカラー写真を見たり印刷したりすることができます。そこで、高原の自然館では紙版(郵送)からインターネット版への購読移行をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

【高原の自然館】<http://shizenkan.info/>

文化ホール前のアテツマンサクの花芽が割れて、中から黄色い花弁が覗いています。木の枝からは雪がなくなり、遠くの山陰は黒く見えます。家の前や田んぼにはたっぷり雪があるのですが、春はすぐそこまで確実にやってきました。冬が去るのがもったいないような、外で遊ぶのが楽しみなような、フクザツな気持ちになりますね。心と体の準備をしながら日々を過ごしています。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax: 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

nature@town.geihoku.hiroshima.jp